

# 名大の時間

## 在宅看護活動論Ⅱ日常生活看護技術演習での学び

慣れた地域で暮らすことができる社会を  
目指す取り組みが進  
められている現在、  
在宅でその人らしく  
生きていくことを支  
えるために重要な役  
割を果たすのが訪問  
看護師です。訪問看  
護は、今後も需要が  
高まると考えられて  
いて在宅看護という  
領域は欠かすことは  
できません。

現在、私たち看護  
学科3年生は、在宅  
看護活動論Ⅱを受講

して在宅看護につい  
て勉強しています。

今回の日常生活看  
護技術演習では、在  
宅で療養する方とそ  
の家族に支援する看  
護の実践方法を病院  
とは違い物品などが  
限られた状況下で療  
養している対象者さ  
んの自宅で看護技術  
を提供する方法をグ  
ループに分かれて考  
えました。

例えば、シャンプ  
ー一つを選択するに  
もどのようなものが

適切かを様々な視点  
からグループで考え  
ました。そして、グ  
ープ毎に発表するこ  
とで良い点や改善点  
について検討しまし  
た。

私の今回の技術演  
習での一番の学び  
は、主役は患者さん  
やそのご家族である  
ということです。も  
ちろん病院での看護  
も患者さん目線で考  
えることが求められ  
るのですが、在宅看  
護では患者さんの自

宅に看護師が出向く  
ため対象者のプライ  
ベートの空間にお邪  
魔させていただくこ  
う感覚を持って看  
護を実践していくこ  
とが必要であると強  
く感じました。

対象となる方の習  
慣や自宅の構造など  
に合わせて最適な方  
法を相談しながら支  
援をしていくという  
姿勢で臨むことが重  
要であるという新た  
な看護の視点につい  
て学ぶことができま



した。

ことができました。

今回の技術演習に  
よって、これまでの  
在宅看護への捉え方  
や病院での看護技術  
との違いについて多  
くの学びを得ること  
ができ、ますます在  
宅看護という領域に  
興味や魅力を感じる

今後も、その人ら  
しさを尊重すること  
ができるような看護  
を提供できるように  
日々努力していきたく  
と思います。

看護学科3年  
工藤歩未

病気や障がいを抱  
えている人でも住み